

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	倫理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	鈴木 亮三	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
倫理学とは看護実践行動の基準となる規範を示す学問領域である。生命倫理、医療倫理、看護倫理の歴史的経緯を踏まえ、看護倫理の基本理論や倫理的概念を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業資料 参考資料は随時紹介						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	1. 倫理学を学ぶ意義について述べるができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく	
		各コマに おける 授業予定	倫理学とは何か			
第 2 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	1. 倫理学における生命倫理が扱う領域について述べるができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく	
		各コマに おける 授業予定	生命倫理学の位置づけ			
第 3 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	1. 人間にとって健康の意味について倫理学視点から述べるができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく	
		各コマに おける 授業予定	健康の概念			
第 4 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	1. 人間にとって病気の意味について倫理学視点から述べるができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく	
		各コマに おける 授業予定	病気の概念			
第 5 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	1. 生殖医療における倫理的課題について、述べるができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく	
		各コマに おける 授業予定	生殖技術(1)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 生殖医療における倫理的課題について、述べることができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく
		各コマにおける授業予定	生殖技術(2)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1、先進技術(臓器移植)における倫理的課題について、述べるができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく
		各コマにおける授業予定	臓器移植		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	1、先進技術(脳死)における倫理的課題について述べるができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく
		各コマにおける授業予定	脳死		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 生殖技術(出生前診断)における倫理的課題について述べるができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく
		各コマにおける授業予定	出生前診断		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	1、生殖技術(人工妊娠中絶)における倫理的課題について述べることができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく
		各コマにおける授業予定	人口妊娠中絶		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	1、死(尊厳死)における倫理的課題について述べるができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく
		各コマにおける授業予定	尊厳死		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	1、死(安楽死)における倫理的課題について述べるができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく
		各コマにおける授業予定	安楽死		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	1、死(老衰死)における倫理的課題について述べることができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく
		各コマにおける授業予定	老衰		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	1、死(ターミナルケア)における倫理的課題について述べることができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく
		各コマにおける授業予定	ターミナルケア		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. インフォームドコンセントと倫理的課題について述べるができる	授業時配布資料	授業資料を読み直しておく
		各コマにおける授業予定	インフォームドコンセント		